



第138号

情報 きよはら



↑清振協HPから
ご覧いただけます



清原にLRT戦隊あらわる！（「ライトライン一周年記念清原大バトル」にて）

「ライトライン開業一周年記念清原大バトル」

清原地域振興協議会 イベント推進部会

8月17日（土）、ライトライン開業一周年記念清原大バトルを、清原中央公園芝生広場において開催し、2,000名を超える皆様にご来場いただきました。

第1ステージは子どもたちに遊びを提供。ヨーヨー釣りや輪投げゲーム、中でも水鉄砲は人気集中。また魷のつかみ取りでは初めて体験する子どもも多く大盛り上がりでした。第2ステージはカラオケ、バンド、タヒチダンス、フラダンス、どじょうすくい楽しんでいただき、日が落ちて第3ステージは盆踊りが行われました。中央にあるやぐらの回りを踊る姿は風情がありました。にぎやかな真夏の一夜となりました。

これもひとえに、ご賛同いただいた皆様のご協力のおかげです。誠にありがとうございました。



水鉄砲



盆踊り

第30回清原地区鬼怒の船頭唄・民謡・舞踊・清原の唄・懐メロ発表交歓会

鬼怒の船頭唄保存会

6月30日(日)、毎年6月最終日曜日に行う当交歓会を、第30回記念大会として開催しました。出演者の高齢化などにより、例年より出演者が若干減りましたが、42人の熱唱・熱演により、盛会に楽しく行われました。

また、例年のように、最後まで観覧応援していただいた皆様に、抽選で地場産のトウモロコシ、トマト、卵など配布し、来年を約束して終了しました。



「鬼怒の船頭唄」の熱演



「清老連の歌」熱唱



石川事務局長

板戸町天祭

板戸町自治会

8月18日(日)、板戸町集落センターにて板戸町天祭が行われました。天祭は、自然信仰に根ざしたもので風雨順調や五穀豊穡などを祈る行事です。



天棚



天棚 4基

天棚には、手掘りの彫刻が施されています。板戸町には4基あり、ひとつの町で4基もあるのは珍しいそうです。内部には太鼓が設置されており、天祭が始まるとお囃子が場を盛り上げます。提灯をぶらさげ、果物などをお供えて、各組ごとに天棚のまわりを「ゴライゴー」等の掛け声とともに歩きます。今年は、子供たちのために公民館役員が、くじ引き・おかしやジュース・麦茶を用意してくれました。大人にはナスの油みそのおふるまいです。美味しくいただきました。



天祭風景



くじ引き

うつのみや花火大会

清原地区自治会連合会

8月10日(土)、うつのみや花火大会が、「こども達に夢と希望と感動を」という想いで、5年ぶりの通常開催となり、ライトレール開業後初、そして過去最大規模の開催となりました。

「復活、夢、挑戦、愛、粋、真心、キセキ、感謝、思い出、笑顔、幸せ、希望、絆、渾身、想い、元氣」と受け継がれてきた思いを原動力に、若い皆様がコロナ禍のなかでもしっかりと計画、準備を推し進め実施されました。

「こども達の笑顔のために」「地域に元気をお届けするために」という想いで行われたこの花火大会を皆様と共に感謝申し上げます。ありがとうございました。



夜空を彩る花火

“2024” きよとこ「清原マルシェ」開催

清原地域振興協議会 イベント推進部会

9月21日(土)・22日(日)、ライトライン開業に伴い、停留所周辺の持続的な賑わいと交流の促進に向け、清振協、宇都宮市、事業パートナーの3者共催により第3回「きよとこ清原マルシェ」を実施しました。

会場には、体験型のワークショップブース、おもてなしブース、清原工業団地内企業「女性活躍ネットワーク」による企業PR・体験コーナーなどが出店しました。2日間で約5,000人(二世帯・三世帯の家族が多数来訪)にお越しいただき、楽しいひと時を過ごしていただきました。

今後とも地域活性化、発展に結びつく活動に取り組んでいきたいと思いますので、地域住民の皆さんのご支援ご協力をお願いします。



「きよとこ」のぼり旗



おもてなし出店風景



来場者

板戸町自主防災会 講話会

板戸町自治会

9月1日は「防災の日」。今年は、1月1日に能登半島地震、8月8日に日向灘を震源とするM7.1の地震発生、台風10号により線状降水帯が発生し大規模被害、能登半島地震の復興半ばに能登豪雨。自然災害は、いつ・どこにでも起こりうる大きな脅威です。

板戸町では、令和6年9月1日（日）、板戸町集落センターにて、板戸町自主防災会 40名が参加し、宇都宮東消防署清原分署鈴木分署長を講師に、災害時の避難のタイミング・避難をする時の注意点など自分の身を守るために必要なことを伺いました。



松沼自治会長 「明日は我が身」



受講の様子 「真剣です」

【防災の心得】

- 1 心の備えを持ち、非常持ち出し品を用意しておくこと。準備をしたことで安心してしまわないこと。定期的に、非常持ち出し品を点検すること。
- 2 正確な情報を見極めること。市や消防署の指示に従うこと。安易に大丈夫と思わないこと。
- 3 雨が降っているときやそのあとに、川の様子を見に行く・田んぼの様子を見に行くことは絶対にやってはいけない。

「カーボンニュートラルプロジェクト」達成のために

清原地域振興協議会 環境委員会

今年度、当委員会では「カーボンニュートラルプロジェクト」を活動指標として掲げ、年度当初から学習会を開き、第4回委員会では、宇都宮市環境創造課から各担当の3名の方をお招きして宇都宮市の脱炭素の取り組みについて意見交換をしました。

また、10月28日には「カーボンニュートラルと地球温暖化」をテーマに講演会を開催し、カーボンニュートラル（脱炭素）実現を目指す栃木県や宇都宮市の策定内容や、個人としてはどのようなことに取り組めば良いかをお話していただきました。

SDGsに基づくこの取り組みを地域に広めるのは難しいとは思いますが、委員が一丸となって取り組んでいきたいと思っています。



宇都宮市環境創造課との意見交換会



「カーボンニュートラルと地球温暖化」講演会

清原工業団地総合管理協会・清原地域振興協議会の意見交換会

清原地域振興協議会

9月27日（金）、清原工業団地総合管理協会幹事企業（12名）と清原地域振興協議会（14名）との意見交換会が開催されました。

冒頭、管理協会・清振協それぞれの令和6年度事業計画（地域まちづくり、地域社会の発展に寄与する事業等）の説明を行った後、ライトライン開業後の清原地区を一層盛り上げるべく話し合い、有意義な意見交換会となりました。今後とも清原工業団地との交流を深め、まちづくりの連携を図っていききたいと思います。



会議風景

清原地区総合防災訓練

清原地区防災会

9月28日（土）、清原地区防災訓練を清原地区市民センターで開催しました。

第1部では、「鬼怒川が氾濫水位に達し、避難所開設の指示を受けた」との想定で清原地区自治会連合会が導入している自治会運営アプリ『結ネット』を使用し、自治会長及び防災担当者全員に災害情報を配信し、被害状況の報告や災害時要援護者の安否確認しました。また、女性防火クラブによる炊き出し訓練（非常食提供）を行い、災害時における非常食の提供方法等について確認しました。

第2部では、HUG（避難所運営ゲーム）を活用し「大規模地震（マグニチュード8.0、電気・ガス・水道が遮断）が発生した」との想定で、避難者それぞれが抱える事情を記した避難者カードをグループリーダーが読み上げ、参加者が①避難者の適切な誘導②避難所で起こる様々な出来事への対応などについて話し合い、避難所の運営について学ぶことができました。



被害状況の収集（結ネット）



避難者対応訓練



炊き出し

防災倉庫を増設しました！

清原地区防災会では、近年の能登半島地震などの災害状況等を鑑み、災害発生時の防災活動の効率化を図るため、令和6年度『赤い羽根とちぎ 防災・減災事業特別助成』を受け、清原地区市民センター敷地内に災害用資機材（非常食、飲料水、毛布、エアマット、発電機、避難所用備品など）の保管庫を増設しました。

これにより、迅速・円滑な避難所開設・運営と備蓄品の適正な保管・管理が可能となりました。



防災倉庫



清老連体育大会開催

清原地区老人クラブ連絡協議会

10月5日(土)、清原中央小学校校庭にて、今年度で第39回を迎えた清老連体育大会を開催しました。天候が心配される開会でしたが、多数のご来賓の皆様、清原中学校ボランティアの生徒さん、スポーツ協会の皆様の多くのご協力、ご支援、ご声援に支えられ、爽やかな秋晴のなか、会員約200名が各競技を楽しみました。

90個の玉が勝敗を分かち紅白玉入れ、全員参加のウルトラジャンケン、日頃の成果が問われるグラウンドゴルフ、いずれの競技も大きな声援と大きな笑い声が会場を包み、健康と交流を目的とする清老連の元気パワー全開の一日となりました。

40回の節目となる来年度の開催につきましても、皆様の多数の参加をお願いします。



準備体操



玉入れ

第61回清原地区スポーツ大会無事開催

清原地区スポーツ協会

10月6日(日)、清原スポーツ大会が行われました。競技種目は、ソフトボール、簡易バレーボール、弓道、剣道、卓球、グラウンドゴルフ(17日)の6種目でした。参加チームが年々減る中、簡易バレーボールは昨年3チームでしたが、今年は5チームの参加があり、熱気あふれる試合を繰り広げました。良い汗をかいた一日となりました。



バレーボール



ソフトボール

清原地区地域体験キャンプ

清原地区青少年育成協議会

9月14日、15日の2日間を清原東小の校庭及び体育館で宿泊キャンプを開催しました。参加者は、清原地区内の小学生47名と、中高生10名のリーダー、そして協力者51名+消防団5名の構成です。参加者の感想としては、自分たちで作るカレーとキャンプファイヤーが特に良かったとの事です。地域探検で協力を頂いた農家の皆さんには、果物や美味しいデザートとお米をいただき、清原地区の魅力に触れて感動した2日間となりました。



キャンプファイヤー

“2024” 清南大地 食の祭典開催

清原南部土地改良区

10月19日(土) 午前11時より、上籠谷町 希望あふれる緑の大地「花と農産物の祭典園場」に於いて、「清南大地食の祭典」が開催されました。夏日を思わせる晴天の下、清原南部土地改良区岡本芳明理事長の挨拶にはじまり、来賓者から挨拶を頂き、美味しいバーベキュー大会、新鮮な農産物即売、おもてなし出店(キッチンカー)、カラオケ・ステージショーが開催され、続いてお楽しみ抽選会、閉会式では賞品を手にし、最後に無料大根収穫体験を行い、14時30分に盛会のうちに終了いたしました。約900名の参加者は、食べて、飲んで、大いに笑って、楽しい一日となりました。



開会式



バーベキュー



カラオケ

清原地区文化祭・農業祭開催

清原地区文化祭農業祭実行委員会

11月2日(土)～3日(日)、第41回清原地区文化祭・農業祭は大盛況のうちに終わることができました。

悪天候が心配されましたが、ステージ発表・出店などの当日は晴天に恵まれ、早朝より準備して予定通りの開催となりました。ライトラインを利用される方々も多くあり、早い時間からたくさんの来場者で賑わいましたが、多くのスタッフの協力で、スムーズに進行することができました。昨年の反省から、飲食ブースの食数を増やしたことで、多くの皆様にお楽しみいただくことができました。また、11月5日(火)～12月3日(火)はロビー作品展示を実施しております。



ロビー展示



屋外ステージ

また、昨年度より中央公園に会場を移して開催された「農業祭」では、注目のお米をはじめ、たくさんの地元生産者の農産物などを販売したほか、多品目の農産物をスタンプラリーの景品とし、参加して下さった多くの皆様に喜んでいただけたことと思います。

ライトラインが開業2年目に入り、更に弾みがついた清原地区は、新しい文化が生まれ、ますます発展していくことでしょう。来年の文化祭・農業祭が、更にグレードアップして、賑やかに開催できるよう、ご協力をお願いします。



農業祭

栃木県老人クラブ連合会スポーツ大会 入賞！

10月23日(水) 県老連スポーツ大会
競技種目 輪投げ 団体 5位 (48チーム中)
個人 3位 入賞
(経過) 清原台5丁目ひまわり会チーム
令和6年6月清原地区大会 団体優勝
8月宇都宮市大会 団体6位

《県老連主催の輪投げ大会に参加して》

私たちひまわり会の輪投げメンバーは、毎週木曜日と土曜日、公民館で練習をしています。私は輪投げを始めて2年半になります。体力もそれほど要らず、集中力で投げる輪投げは、私たちシニアには適当なスポーツだと思います。(点数計算するので頭の体操にもなります。)

これからも、体力の続く間は、仲間と一緒に続けていこうと思います。



清原台5丁目
えづれ まさあき
江連 勝明様

第6回日本橋・清原ふれあいまつり

10月27日(日)、「第6回日本橋・清原ふれあいまつり」が開催されました。トラックとバスに分乗し、総勢50名で宇都宮の名物や清原の農産物のPR販売と交流を行いました。開会式の日本橋代表のあいさつで、「ライトラインの開通により沿線地域の開発が進んでいること」「プロスポーツの数が多いこと」など併せて地域の活性化につながっているというお話をいただき、東京の方々が宇都宮のことをよくご存じで驚きました。その中での交流会も大変有意義なものとなり、次年度へと繋げて参りました。



開会式



アユの塩焼き出店

清原地区の今後の主な行事予定

行事	日程
清原スポーツ祭典	12月8日(日)
令和7年新春賀詞交歓会	1月
第19回きよはら飛山まつり	3月8日(土)
JBCL2025宇都宮清原クリテリウム	3月下旬

編集後記

今回の情報きよはらは、8月から11月上旬までのイベントを掲載しました。ライトライン開通後の清原地区を盛り上げるべく、いろいろなまちづくり活動をしてまいりました。お力添えいただき、ありがとうございました。今年も残すところひと月半となりましたが、みなさま、年初に掲げた目標などは、達成できましたでしょうか。良い締めくりとなりますように。

清原地域振興協議会

(事務局：清原地区市民センター内 TEL667-5696)
(E-mail: tp_kytik@sea.ucatv.ne.jp)

発行責任者 会長 岡本 芳明
編集 情報きよはら編集委員会
印刷 株式会社 井上総合印刷